

※各計算書及び一覧表において、単位未満を四捨五入しているため、合計などに差異が生じる場合があります。

(1)2020 年度決算の概要

①資金収支計算書の状況

資金収支計算書は、当該年度の諸活動に対応するすべての資金の収入および支出の内容と、当該会計年度における支払資金(現金及びいつでも引き出すことのできる預貯金)の収入及び支出についてその顛末を明らかにし、資金の使途や残高状況を表したものです。

収入の部		(単位:百万円)		
科 目	予 算	決 算	差 異	
学生生徒等納付金収入	35,587	35,719	△ 132	
手数料収入	2,349	2,257	92	
寄付金収入	388	366	22	
補助金収入	5,084	5,277	△ 193	
資産売却収入	0	322	△ 322	
付随事業・収益事業収入	539	568	△ 29	
受取利息・配当金収入	289	336	△ 47	
雑収入	728	901	△ 172	
借入金等収入	0	0	0	
前受金収入	7,955	7,894	60	
その他の収入	7,386	7,791	△ 405	
資金収入調整勘定	△ 8,161	△ 9,835	1,674	
前年度繰越支払資金	32,006	32,006	0	
収入の部合計	84,151	83,603	548	

支出の部		(単位:百万円)		
科 目	予 算	決 算	差 異	
人件費支出	22,179	21,502	678	
教育研究経費支出	13,767	12,164	1,603	
管理経費支出	1,661	1,483	178	
借入金等利息支出	0	0	0	
借入金等返済支出	0	0	0	
施設関係支出	10,858	10,650	208	
設備関係支出	1,596	1,894	△ 299	
資産運用支出	3,309	3,587	△ 279	
その他の支出	1,435	2,400	△ 965	
[予備費]	(0)			
	600		600	
資金支出調整勘定	△ 341	△ 2,170	1,829	
翌年度繰越支払資金	29,086	32,093	△ 3,007	
支出の部合計	84,151	83,603	548	

※差異の△表示は、決算額が予算額を超過していることを表します。

【収入の状況】

収入の部の合計 836 億 300 万円から前年度繰越支払資金 320 億 600 万円を除いた当年度の資金収入は 515 億 9,700 万円となりました。

学生生徒等から納付いただいた入学金や授業料等の学生生徒等納付金収入は 357 億 1,900 万円となり予算比で 1 億 3,200 万円の増加、入学検定料収入を中心とする手数料収入は、22 億 5,700 万円となり予算比で 9,200 万円の減少、私立大学等経常費補助金や国際化拠点事業費補助金(SGU)、附属校等の私立学校経常費補助金等の補助金収入が 52 億 7,700 万円となり予算比で 1 億 9,300 万円の増加となっています。

その他、株式譲渡による資産売却収入が 3 億 2,200 万円、付随事業・収益事業収入が 2,900 万円、受取利息・配当金収入が 4,700 万円、雑収入が 1 億 7,200 万円、予算での見込みより増加しましたが、寄付金収入が 2,200 万円、予算での見込みより減少しました。

【支出の状況】

支出の部の合計 836 億 300 万円から翌年度繰越支払資金を除いた当年度の資金支出は 515 億 1,000 万円となりました。

人件費支出が 215 億 200 万円となり、教員の未補充等により予算比で 6 億 7,800 万円の減少、教育研究経費支出は、121 億 6,400 万円となり予算比で 16 億 300 万円の減少、管理経費支出が 14 億 8,300 万円となり予算比で 1 億 7,800 万円の減少、施設関係支出が 106 億 5,000 万円となり予算比で 2 億 800 万円の減少、設備関係支出が 18 億 9,400 万円となり予算比で 2 億 9,900 万円の増加となりました。その他、資産運用支出が 35 億 8,700 万円で退職給与引当特定資産繰入支出の増加により予算を上回りました。

この結果、翌年度繰越支払資金は 320 億 9,300 万円となりました。

(1)2020 年度決算の概要

②活動区分資金収支計算書の状況

活動区分資金収支計算書は、企業会計のキャッシュ・フロー計算書に近いもので、資金収支計算書を「教育活動」、「施設設備等活動」、「その他の活動」の3つの区分に分けて、活動区分ごとの収支構造を明らかにしたものです。

教育活動による資金収支		(単位:百万円)	その他の活動による資金収支		(単位:百万円)
収入	科目	金額	収入	科目	金額
	学生生徒等納付金収入	35,719		有価証券売却収入	322
	手数料収入	2,257		退職給与引当特定資産取崩収入	267
	特別寄付金収入	335		奨学事業引当特定資産取崩収入	17
	一般寄付金収入	22		貸付金回収収入	8
	経常費等補助金収入	5,138		預り金受入収入	349
	付随事業収入	568		修学旅行費預り資産取崩収入	218
	雑収入	835		立替金回収収入	22
	教育活動資金収入計	44,874		修学旅行費預り金収入	42
				その他の収入	140
支出	人件費支出	21,502		小計	1,385
	教育研究経費支出	12,164		受取利息・配当金収入	336
	管理経費支出	1,482		過年度修正収入	10
	教育活動資金支出計	35,148		為替差益	56
差引		9,726		その他の活動資金収入計	1,787
調整勘定等		△ 150			
教育活動資金収支差額		9,576	支出	退職給与引当特定資産繰入支出	447
				貸付金支払支出	3
				預り金支払支出	402
				出資金支出	0
				差入保証金支出	0
				修学旅行費預り資産繰入支出	254
				立替金支払支出	124
				修学旅行費預り金支出	6
				その他の支出	218
				小計	1,455
				過年度修正支出	0
				為替差損	0
				その他の活動資金支出計	1,455
			差引		331
			調整勘定等		26
			その他の活動資金収支差額		358
			支払資金の増減額		
			(小計+その他の活動資金収支差額)		86
			前年度繰越支払資金		32,006
			翌年度繰越支払資金		32,093
施設整備等活動による資金収支		(単位:百万円)			
収入	科目	金額			
	施設設備寄付金収入	9			
	施設設備補助金収入	139			
	第2号基本金引当特定資産取崩収入	5,000			
	減価償却引当特定資産取崩収入	118			
	園舎改築引当特定資産取崩収入	6			
	施設整備等活動資金収入計	5,273			
支出	施設関係支出	10,650			
	設備関係支出	1,894			
	減価償却引当特定資産繰入支出	1,140			
	建設準備引当特定資産繰入支出	2,000			
	施設整備等活動資金支出計	15,684			
差引		△ 10,412			
調整勘定等		564			
施設整備等活動資金収支差額		△ 9,847			
小計(教育活動資金収支差額 +施設整備等活動資金収支差額)		△ 271			

本業である教育活動による資金収支は、95 億 7,600 万円のプラス(収入超過)となりました。

施設整備等活動による資金収支は、98 億 4,700 万円のマイナス(支出超過)となりました。施設関係支出の主なもの、赤羽台キャンパス新校舎建築工事や附属姫路中学高等学校第3校舎建築工事のほか、大学の電話交換機更新工事や空調機更新工事等の支出です。設備関係支出の主なもの、赤羽台キャンパス新校舎及び附属姫路中学高等学校第3校舎の機器備品や教育・研究のための機器備品、情報関係機器等購入の支出です。赤羽台キャンパス新校舎建築工事に伴い、第2号基本金引当特定資産から50億円の取り崩しを行い、老朽化建物の大規模修繕や建物の将来の建て替えの備えとして、減価償却引当特定資産に11億4,000万円、建設準備引当特定資産に20億円を繰り入れました。

教育活動と施設整備等活動を合わせた資金収支差額は、2億7,100万円のマイナスとなりました。

その他の活動による資金収支は、3億5,800万円のプラスとなり、この結果、翌年度への繰越支払資金は、8,600万円増加し、320億9,300万円となりました。

(1)2020 年度決算の概要

③事業活動収支計算書の状況

事業活動収支計算書は、当該年度の事業活動収入及び事業活動支出を、本業である教育研究活動の収支を示す「教育活動収支」と、教育研究活動以外の活動(主に財務活動)の収支を示す「教育外活動収支」、資産売却や資産処分等の臨時的な収支を示す「特別収支」に区分し、その内容を示すとともに、基本金に組み入れる額を控除したすべての事業活動収入及び事業活動支出の均衡状態を明らかにし、経営状態の健全性を表したものです。

教育活動収支		(単位:百万円)		
科 目	予 算	決 算	差 異	
事業活動収入の部				
学生生徒等納付金	35,587	35,719	△ 132	
手数料	2,349	2,257	92	
寄付金	388	388	△ 0	
経常費等補助金	4,978	5,138	△ 160	
付随事業収入	539	568	△ 29	
雑収入	729	836	△ 107	
教育活動収入計	44,570	44,906	△ 336	
事業活動支出の部				
人件費	22,281	21,599	682	
教育研究経費	18,264	16,662	1,603	
管理経費	1,704	1,529	176	
教育活動支出計	42,249	39,789	2,461	
教育活動収支差額	2,321	5,118	△ 2,797	

教育活動外収支		(単位:百万円)		
科 目	予 算	決 算	差 異	
事業活動収入の部				
受取利息・配当金	289	336	△ 47	
その他の教育活動外収入	0	56	△ 56	
教育活動外収入計	289	392	△ 103	
事業活動支出の部				
借入金等利息	0	0	0	
その他の教育活動外支出	0	0	△ 0	
教育活動外支出計	0	0	△ 0	
教育活動外収支差額	289	392	△ 102	
経常収支差額	2,610	5,509	△ 2,899	

特別収支		(単位:百万円)		
科 目	予 算	決 算	差 異	
事業活動収入の部				
資産売却差額	0	4	△ 4	
その他の特別収入	106	213	△ 107	
特別収入計	106	217	△ 111	
事業活動支出の部				
資産処分差額	288	205	83	
その他の特別支出	0	0	△ 0	
特別支出計	288	205	83	
特別収支差額	△ 182	12	△ 194	

[予備費]	(0)	600	600
基本金組入前当年度収支差額	1,828	5,521	△ 3,693
基本金組入額合計	△ 7,781	△ 1,275	△ 6,506
当年度収支差額	△ 5,954	4,246	△ 10,200
前年度繰越収支差額	△ 39,928	△ 39,928	0
基本金取崩額	0	0	0
翌年度繰越収支差額	△ 45,882	△ 35,682	△ 10,200

(参考)			
事業活動収入計	44,965	45,515	△ 550
事業活動支出計	43,137	39,994	3,144

※差異の△表示は、決算額が予算額を超過していることを表します。

【収入の状況】

当年度の事業活動収入の合計は455億1,500万円で、教育活動収支の主な収入項目としては、学生生徒等納付金が前年度より5億5,200万円増加し357億1,900万円に、入学検定料などの手数料が大学の志願者数の減少により前年度より3億3,900万円減少し22億5,700万円に、施設設備以外の特別寄付金や一般寄付金、現物寄付などの寄付金が前年度より1億5,700万円増加し3億8,800万円に、経常費等補助金が前年度より9億5,600万円増加し51億3,800万円になりました。これは国の高等教育修学支援新制度による学生の減免額分が授業料等減免交付金として経常費等補助金に計上したことにより増加になりました。

教育活動外収支では、受取利息・配当金が前年度より1億7,000万円増加し3億3,600万円に、その他の教育活動外収入では為替差益が5,600万円発生しました。

特別収支では施設設備に係る寄付金や現物寄付、施設設備補助金などのその他の特別収入が前年度より1億700万円増加し2億1,300万円になりました。

【支出の状況】

当年度の事業活動支出の合計は399億9,400万円で、教育活動収支の主な支出項目としては、人件費が前年度より3,800万円増加し215億9,900万円に、教育研究経費がコロナ禍の学生支援として新規奨学金の給付や国の高等教育修学支援新制度による奨学金が増加したことから、前年度より13億300万円増加し166億6,200万円に、管理経費が前年度より1億7,400万円減少し15億2,900万円となりました。なお、全体のうち45億1,000万円は減価償却額になります。

【収支差額の状況】

教育活動収支差額に教育活動外収支差額を加えた経常収支差額は、前年度より2億4,400万円増加し55億900万円で、さらに特別収支差額の1,200万円を加えた基本金組入前当年度収支差額は、前年度より4億2,400万円増加し55億2,100万円となりました。基本金組入額を差し引いた当年度収支差額はプラスの42億4,600万円で、翌年度繰越収支差額はマイナス356億8,200万円(支出超過)となりました。

(1)2020 年度決算の概要

④貸借対照表の状況

貸借対照表は、一定時点(決算日、3月末現在)における資産、負債、純資産の財政状態を表したものです。

資産の部 (単位:百万円)				負債の部 (単位:百万円)			
科 目	本年度末	前年度末	増 減	科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	216,818	210,768	6,051	固定負債	8,938	8,842	96
有形固定資産	163,920	155,898	8,021	退職給与引当金	8,920	8,824	96
土地	59,394	59,236	158	長期未払金	18	18	0
建物	79,384	70,878	8,505	流動負債	10,777	10,322	455
構築物	5,305	5,234	71	未払金	1,829	1,090	739
教育研究用機器備品	5,677	5,228	449	前受金	7,894	8,161	△ 266
管理用機器備品	73	64	9	預り金	799	853	△ 54
図書	8,374	8,327	47	修学旅行費預り金	254	218	36
車輛	4	7	△ 3	負債の部合計	19,715	19,164	551
建設仮勘定	5,709	6,925	△ 1,216				
特定資産	52,236	54,056	△ 1,820				
第2号基本金引当特定資産	10,000	15,000	△ 5,000				
第3号基本金引当特定資産	11,467	11,467	0				
減価償却引当特定資産	19,699	18,677	1,022				
退職給与引当特定資産	3,308	3,127	181				
建設準備引当特定資産	7,090	5,090	2,000				
井上円了哲学塾引当特定資産	160	160	0				
奨学事業引当特定資産	470	487	△ 17				
幼稚園園舎改築引当特定資産	42	48	△ 6				
その他の固定資産	663	813	△ 150				
借地権	55	55	0				
施設利用権	2	5	△ 3				
商標権	3	4	△ 1				
ソフトウェア	496	628	△ 133				
出資金	32	32	0				
未収入金	15	16	△ 2				
有価証券	20	20	0				
前払金	4	11	△ 7				
差入保証金	29	29	0				
長期貸付金	8	13	△ 5				
預託金	0	0	△ 0				
流動資産	34,649	34,628	21				
現金預金	32,093	32,006	87				
未収入金	1,673	1,604	69				
有価証券	0	318	△ 318				
前払金	310	341	△ 31				
修学旅行費預り資産	254	218	36				
立替金	102	1	101				
その他の流動資産	218	140	78				
資産の部合計	251,467	245,395	6,072				

純資産の部 (単位:百万円)			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	267,435	266,160	1,275
第1号基本金	243,474	237,198	6,275
第2号基本金	10,000	15,000	△ 5,000
第3号基本金	11,467	11,467	0
第4号基本金	2,494	2,494	0
繰越収支差額	△ 35,682	△ 39,928	4,246
翌年度繰越収支差額	△ 35,682	△ 39,928	4,246
純資産の部合計	231,753	226,232	5,521

科 目	本年度末	前年度末	増 減
負債及び純資産の部合計	251,467	245,395	6,072

【資産の状況】

2020 年度末の資産総額は、2,514 億 6,700 万円で前年度末に比べ 60 億 7,200 万円増加しました。固定資産は、2,168 億 1,800 万円となり、うち有形固定資産については、附属姫路中学校高等学校で隣接地を購入したことにより土地が増加したこと、赤羽台キャンパス新校舎建築及び附属姫路中学校高等学校第 3 校舎建築に伴い建物が増加したことのほか、赤羽台キャンパス新校舎及び附属姫路中学校高等学校第 3 校舎の機器備品や教育・研究のための機器備品、図書の購入などの増加により、前年度末に比べ合計で 80 億 2,100 万円増加し 1,639 億 2,000 万円となりました。特定資

産は、第 2 号基本金引当特定資産を赤羽台キャンパス新校舎建築工事費用の一部として 50 億円を取り崩したことのほか、減価償却引当特定資産は、大学で 10 億円、附属牛久中学高等学校で 1 億 4,000 万円を組み入れ、附属姫路中学校高等学校で第 3 校舎建築工事費用の一部として 1 億 1,800 万円取り崩したことなどにより 10 億 2,200 万円の増加、また老朽化建物の大規模修繕や建て替えの備えとして、大学で建設準備引当特定資産へ 20 億円を組み入れたことなどにより、前年度末に比べ合計で 18 億 2,000 万円減少の 522 億 3,600 万円となりました。その他の固定資産は、前年度末に比べ 1 億 5,000 万円減少し 6 億 6,300 万円に、流動資産は現金預金が 8,700 万円、未収入金が 6,900 万円、立替金が 1 億 100 万円増加しましたが、有価証券が株式の売却により 3 億 1,800 万円減少したことなどで、前年度末に比べ合計で 2,100 万円増加し 346 億 4,900 万円となりました。

【負債の状況】

負債総額は 197 億 1,500 万円で前年度末に比べ 5 億 5,100 万円増加しました。固定負債は退職給与引当金が 9,600 万円増加したことにより 89 億 3,800 万円に、流動負債は未払金が 7 億 3,900 万円増加し、前受金が 2 億 6,600 万円減少したことなどにより、前年度末に比べ合計で 4 億 5,500 万円増加し 107 億 7,700 万円となりました。

【基本金の状況】

基本金は前年度末に比べ 12 億 7,500 万円増加して 2,674 億 3,500 万円となりました。このうち第 1 号基本金は赤羽台キャンパス新校舎建築工事や附属姫路中学校高等学校第 3 校舎建築工事に係る組み入れや、施設の改修、機器備品など施設設備充実による取得などにより、前年度末に比べ 62 億 7,500 万円増加し 2,434 億 7,400 万円となりました。

【収支差額の状況】

資産総額 2,514 億 6,700 万円に対して、負債総額が 197 億 1,500 万円になったため、純資産は前年度末に比べ 55 億 2,100 万円増加し 2,317 億 5,300 万円となり、基本金が 2,674 億 3,500 万円であることから、繰越収支差額はマイナス 356 億 8,200 万円となりました。なお、今年度末における減価償却累計額の合計は 840 億 4,900 万円、基本金の未組入額は 7 億 1,200 万円となりました。